

本間建設 株式会社

DX宣言書

2024年7月26日
本間建設 株式会社
代表取締役 本間 寿正

□ 経営理念

私たちが関わる全ての人々の「幸せ」のために、「誠実・堅実」「創意工夫・総力結集」を合言葉として、私たちは大切な人と地域を守る仕事に誇りを持って全力で取り組んでまいります

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ これまで培ってきた技術と仕事の進め方を伝承しながらも、IT技術を活用することにより時代の変化に柔軟に対応し、挑戦し続ける会社を目指します
- ◆ デジタル技術の活用による生産性向上や働き方改革を行い、従業員全員が「うちがいい会社だ」、「働いていて幸せだ」と実感できる職場環境を実現します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2024年12月)

戦略 「導入済みITツール・システムの活用を定着化し、従業員にとってデジタルを身近なものに」

- 施策
- ・ 効率的なコミュニケーションのためにグループウェアをクラウド版に移行し、利用者を全従業員に拡大(現在は一部従業員のみ利用)
 - ・ 各従業員が業務スケジュールを登録・公開、掲示板での情報一斉周知や各種申請の電子化を実施(グループウェア活用)
 - ・ 工事現場および施工管理業務におけるICT技術の活用に向けた勉強会を実施

➤ フェーズ2(2025年1月 ～ 2026年12月)

戦略 「オフィス・工事現場両方での業務効率化による働き方改革の実現」

- 施策
- ・ 現在の業務を棚卸し、特に時間・手間がかかっている業務を特定
 - ・ 業務効率化に適したITツール・システムを選定し、導入
 - ・ ITツール・システムのユーザマニュアル整備や勉強会を実施
 - ・ 特に、社内資料を中心としたペーパーレス化や定型業務の自動化を優先的に実施
 - ・ 業務効率化により余力が生まれた部署から繁忙部署へヘルプに回る体制整備

➤ フェーズ3(2027年1月 ～ 2027年12月)

戦略 「自発的な提案を歓迎する社内コミュニケーション体制の構築を通じた従業員満足度の向上」

- 施策
- ・ DX推進チームが中心となり、従業員の意見やアイデアを集め、経営層に届ける活動を定期的に実施
 - ・ さらなる生産性向上施策を従業員自身が検討・提案・実行する仕組みを構築(社内イベントとして企画等)

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 従業員満足度(※) : 70%以上(～2026年3月)
 - ・ 従業員による生産性向上につながるアイデアの発案数 : 5件以上/年(～2027年12月)
- (※)アンケート調査による測定